

秋田県誕生 **150** 年記念

由利地域

歴史の1コマ



**第16回国民体育大会(秋田国体)の国体旗リレー隊が
大町通りを通過する様子**

市を挙げて歓迎しようと、多くの市民が沿道を埋め尽くした。
(由利本荘市・旧本荘市 昭和36年)



前郷日枝神社祭典

今から三百余年前に、飯沢太夫山にあった社殿を山王町の現在地に移したのを
祝って催されるようになった伝統の祭り。(由利本荘市・旧由利町 昭和52年)



**令和4年に35回を迎える「矢島カップ・Mt.鳥海バイシクルクラシック」
第1回大会のスタート地点の様子**

現在では、参加者1,000人を超える全国屈指の大会となった。(由利本荘市・旧矢島町 昭和62年)



道川ロケットセンター全景

昭和30年、国産初のベンシルロケットが東京大学生産技術研究所の糸川英夫教授によって打ち上
げられ、以来7年間で80機余りのロケット実験が行われた。(由利本荘市・旧岩城町 昭和35年)

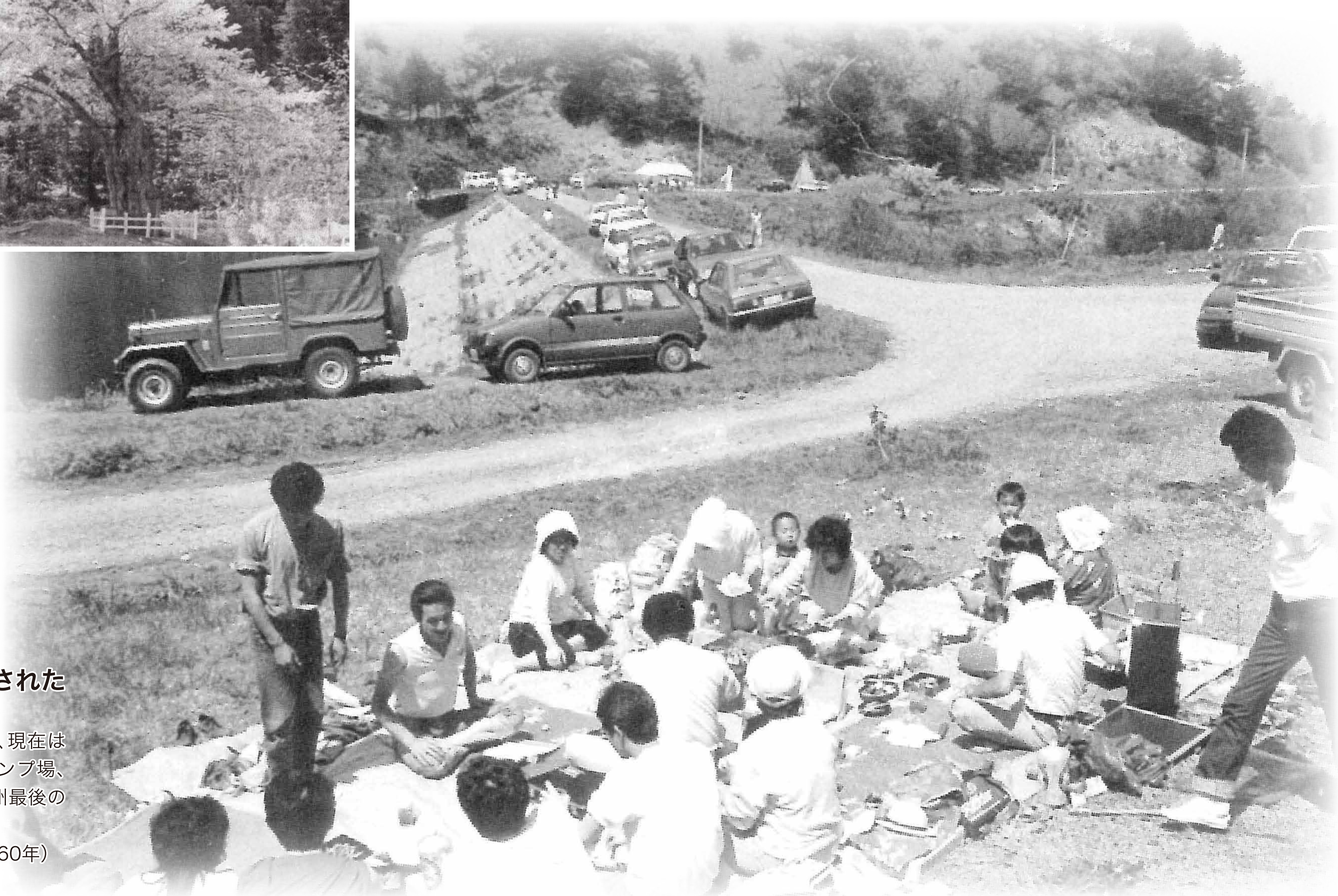
由利地域

歴史の1コマ



葛岡かすみざくら

樹齢400年以上、幹回り約6㍓は霞桜では日本一と言われ、花盛りの頃に遠くから眺めると霞がかったように美しく、昭和34年秋田県天然記念物に指定された。
(由利本荘市・旧大内町 昭和34年)



八塩いこいの森で開催された 第1回黄桜まつり

年々黄桜の植栽エリアが増え、現在はパークゴルフ場やオートキャンプ場、野外ステージなども加えて本州最後の観桜会を楽しめる。
(由利本荘市・旧東由利町 昭和60年)



にぎわう西目海水浴場の様子

遠浅の海と綺麗な砂浜が人気で、黒松との美しい調和は昭和62年日本の松の緑を守る会「白松青松100選」に選ばれた。(由利本荘市・旧西目町 昭和59年)



法体の滝

幽邃な溪谷を流れる清冽な水が鳥海山頂に面して落下し、末広がりの優雅な姿で県内随一の名瀑と称されており、現在は美しい吊り橋(昭和41年完成)が架けられている。
(由利本荘市・旧鳥海町 昭和35年)

由利地域

歴史の1コマ

かつては国内有数の産出量を誇った院内油田

大正11年、大日本石油鉱業株式会社が試掘を始めたのを皮切りに、急速な開発が進み、周辺には、院内・桂坂・小滝・上浜の四油田があったが、その中でも最大の採油量を誇った。昭和10年には、採油量も年産11万3千KLに達し最盛期を迎えたが、産油量が徐々に減少し、平成7年に閉山した。

(にかほ市・旧仁賀保町 昭和10年代)



伝統の奇祭、旧金浦町の掛魚まつり(鱈まつり)

金浦山神社本殿に大鱈を奉納して、豊漁・安全を祈願し、獅子舞や巫女舞、そして金浦神楽も奉納され、現在も毎年2月4日に行われている。

(にかほ市・旧金浦町 昭和40年)



東京電気化学工業の作業風景

旧仁賀保町出身の齋藤憲三が、東京工業大学の加藤与五郎博士が発明した磁性材料・フェライトの工業製品化を目的に昭和10年に設立。昭和58年にTDKと改称した。(にかほ市・旧仁賀保町 昭和40年代)



夏の象潟海水浴場

松林に囲まれた白砂青松の風光明媚な海岸として、また近場に保養所などの宿泊施設もあり多くの海水浴客で賑わった。

(にかほ市・旧象潟町 昭和30年)



象潟漁港から望む鳥海山

昭和30年に陸掘式漁港が完成、同時期に象潟・上浜・上郷が合併し、新「象潟町」も誕生した。昭和38年には港内の拡張工事が始まり昭和43年に完成、県南の中核拠点漁港となった。(にかほ市・旧象潟町 昭和38年)